



# はまぼうふう



保護センターが開館してこの春で24年目をむかえます。

その間に世界中、日本中で多くの生物多様性が失われてきました。

石狩浜も環境はどんどん変化しています。

石狩浜がこの先もたくさんの生き物が生きられる環境であるために

保全のための必要な行動計画を『石狩浜アクションプラン』としてまとめました。

海浜植物と、そこにいる生き物について、今までよりもたくさんお伝えできるようにしていきます。

## 石狩浜海浜植物保護センター2023 -秋・冬-



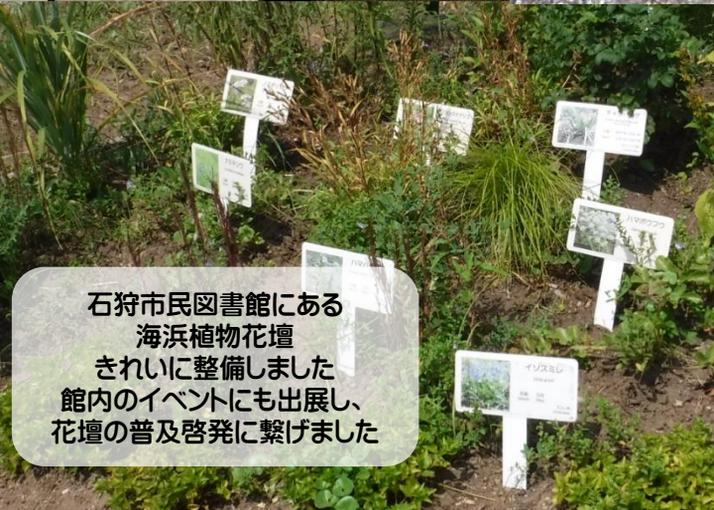
札幌地下歩行空間で  
トランクキットを使った  
石狩浜の紹介をしてきました



11月に小さな  
アズマヒキガエルの  
集団と遭遇…



絶滅危惧種の  
アカダマスツポンダケと  
初めて出会いました



石狩市民図書館にある  
海浜植物花壇  
きれいに整備しました  
館内のイベントにも出展し、  
花壇の普及啓発に繋げました



次の開館を見越して  
観察園の砂かけや  
海浜植物の苗を補植しました  
石狩浜で見られる  
自然の再現に努めます

# 石狩浜海浜植物保護センター2024 -春-

海浜植物のタネや貝を使ったクラフトコーナーや、海浜植物の根っこを観察する『ほりほり体験』といった体験を通じて海浜植物を学ぶプログラムを提供してきました。体験していただいた皆さん、ありがとうございました!!

今年も開館と同時にクラフトコーナーを開催します。ほりほり体験についても、植物の状態に応じて体験可能となります。今年も是非、海浜植物の新たな魅力を発信できるように、新しいプログラムを考えていきます。お楽しみにー!!

## ほりほり体験でほった 根っこの展示



海浜植物のタネを使った  
タネアート



植生管理で除去した  
植物の活用方法を模索中☆

## ❖保護センターからのお願い

毎年4月29日に保護センターは開館します。毎年その時期は、イソスミレやハマハタザオが咲き始め、アズマヒキガエルの防除活動に大忙しです。野鳥の中には、石狩浜で育てをする種、遠くに行くまでに休憩する種、冬をすごす種など、年中通して様々な種類が利用しています。石狩浜の花や野鳥が見られる風景を多くの方が楽しみにしています。ただ、一方で自然にとって困った行動に出してしまう人も少なからずいます。子育て中の動物に不用意に近づく、植物を踏みつけるなど、知らぬ間に自然へ影響を与えていることもあります。来年も、再来年も自然が楽しめる石狩であるために、生き物のことを考えて行動しましょう。



石狩浜海浜植物保護センター通信 はまぼうふうVol78 2024(令和6)年3月発行

編集・発行 石狩市環境市民部 石狩浜海浜植物保護センター

連絡先 ☎:0133-60-6107 FAX:0133-60-6146

✉:ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

所在地 〒061-3372 石狩市弁天町48番1

開館日 4/29~11/3 10:00~16:00

休館日 火曜休館・祝日の場合は翌平日

ホームページ <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/>

